

4月13日 道の駅「すいかの里 植木」から 大西市長へすいかの贈呈がありました!

道の駅「すいかの里 植木」の出荷者協議会(会長:西原 禎二さん)から大西市長へすいかの贈呈がありました。



これは、本市初の道の駅の名称にもなっており、本市が日本一の生産を誇るすいかの販売が3月より始まり、4月から6月にかけて本格的な出荷時期を迎えることから、市民の代表である大西市長にすいかを贈り、道の駅での多様なイベントなどを通じて、植木地域のすいかをはじめとした農産物や地域資源をPRしようと企画されました。

大西市長は大きなすいかを食べ、「本当に美味しかったです。甘くて美味しい熊本のすいかを皆さんもご賞味ください」と感想を話しました。

(北農業振興課 ☎096-272-1117)

4月16日 震災対処実動訓練を実施しました

熊本地震本震から1年の節目に、熊本地震の経験を踏まえ、本市で震度6強の地震が発生したと想定し、避難所開設・運営、情報収集・伝達、物資供給訓練を実施しました。



新たな取り組みとして、避難所ごとにあらかじめ避難所担当職員を配置して、大規模な災害が発生した場合には、所定の避難所に担当職員が参集し、学校・施設管理者、地域と避難所を運営する体制を構築した訓練を行いました。



また、モデル校区である向山、尾ノ上、中島、力合、高平台校区では地域、企業も参加・連携して避難所への物資供給訓練を行うとともに、校区ごとに炊出し訓練、避難所運営ゲーム、JR九州との避難訓練なども行われ、それぞれの役割を確認しました。

(危機管理防災総室 ☎096-328-2490)

4月22-23日 動植物園立入禁止エリアの被災状況見学会を開催しました!

動植物園では、熊本地震の復旧費用を支援いただく復興応援サポーターを募集しており、多くの方にご登録いただいています。4月22日と23日に登録者の皆さんへ感謝の意を込め、被災状況見学会を開催しました。



現在は立入禁止エリアとなっているホッキョクグマ舎では、「マルル〜!」と元気に名前を呼ぶ子どもたちの声に、マルルも嬉しそうに反応していました。

6月には少し開園エリアが広がり、植物園施設入口(西門)が復旧します。来園後初公開となるシフソウの「ありさ」にも会えますよ。

(動植物園 ☎096-368-4416)

4月23日 ブルーインパルスが 熊本の空に!

熊本地震からの復興を願い、熊本に元気を届けるため、航空自衛隊のブルーインパルス\*による展示飛行が行われました。



この飛行は本市が開催した「熊本復興飛翔祭」のなかで行われたもので、会場となった熊本城二の丸広場には県内外からこの飛行をひと目見ようと約6万人を超える観客が詰め掛け、雲ひとつない熊本の青空に描かれる6機の青い機体の軌跡に、多くの人々が感動と笑顔を貰いました。



\*ブルーインパルスとは

航空自衛隊宮城県松島基地の第4航空団に所属する「第11飛行隊」で、航空自衛隊の航空祭や国民的な大きな行事などで華麗なアクロバット飛行(これを展示飛行と呼びます)を披露する専門のチーム。

(イベント推進課 ☎096-328-2948)

“市民力74万馬力”ロアツソ熊本を応援しよう!! ホームゲーム(6月)

場所: えがお健康スタジアム (県民総合運動公園陸上競技場)

開催日	試合開始	対戦相手
6月5日(月)	午後7時	京都サンガF.C.
6月25日(日)	午後7時	レノファ山口FC



ロアツソ熊本は、「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」の理念のもと、J2リーグで試合をしています。シーズン中盤にさしかかり、悲願のJ1昇格に向けて熊本市民74万人の力でロアツソ熊本を応援しましょう。



(スポーツ振興課 ☎096-328-2724)

くまもと復興映画祭からのメッセージ

4月7日(金)に開催された映画祭で、勇気づけられるメッセージをいただきました!!

行定 勲 監督



熊本地震が起こってから1か月くらい経ったときに、大西市長から、大変なことになっている熊本に元気を取り戻すために映画祭ができないかという相談がありました。その日から今日のこの日を迎えるまで1年近く経ちましたが、その時は1年後の熊本がどうなっているかはわかりませんでした。

踏ん張っている熊本の人たちの姿を、東京から熊本へ訪れる度に見ていて、非常に力強い熊本に、さらに力を与えたいと思い、ようやくこの日を迎えることができました。熊本は、これから長い復興になっていくと思います。熊本城の復興にも20年かかると言います。ぼくらはずっと熊本に寄り添って、熊本との距離をどんどん近づけて、今年も来年も再来年もこういうイベントを続けていきたいと考えています。それが、皆さんの力になればと、心から願っています。

高良 健吾さん



二の丸広場というのは、熊本の方々にとっても身近な場所だと思います。その場所で、野野上上映ができて、こんなにたくさんの方たちが集まってくれたことが本当に嬉しいです。

映画「うつくしいひと」は震災前と震災後で大きく違いますが、撮影の際に、その瞬間の熊本を撮るという気持ちには変わりなかったです。今日上映する「うつくしいひと サバ?」では、震災後だからこそ、映画にいろいろな想いをこめました。とくに、熊本の人たちに想いが届くように意識してお芝居しましたし、現場にいました。

この映画がここ二の丸広場で開催されることが、皆さんの思い出になればと思います。さらにこの映画が、皆さんのこれからの背中を押してくれる希望になってくれたら、とても嬉しいです。

(広報課 ☎096-328-2043)

くまもとさん 108



作: 桜田幸子